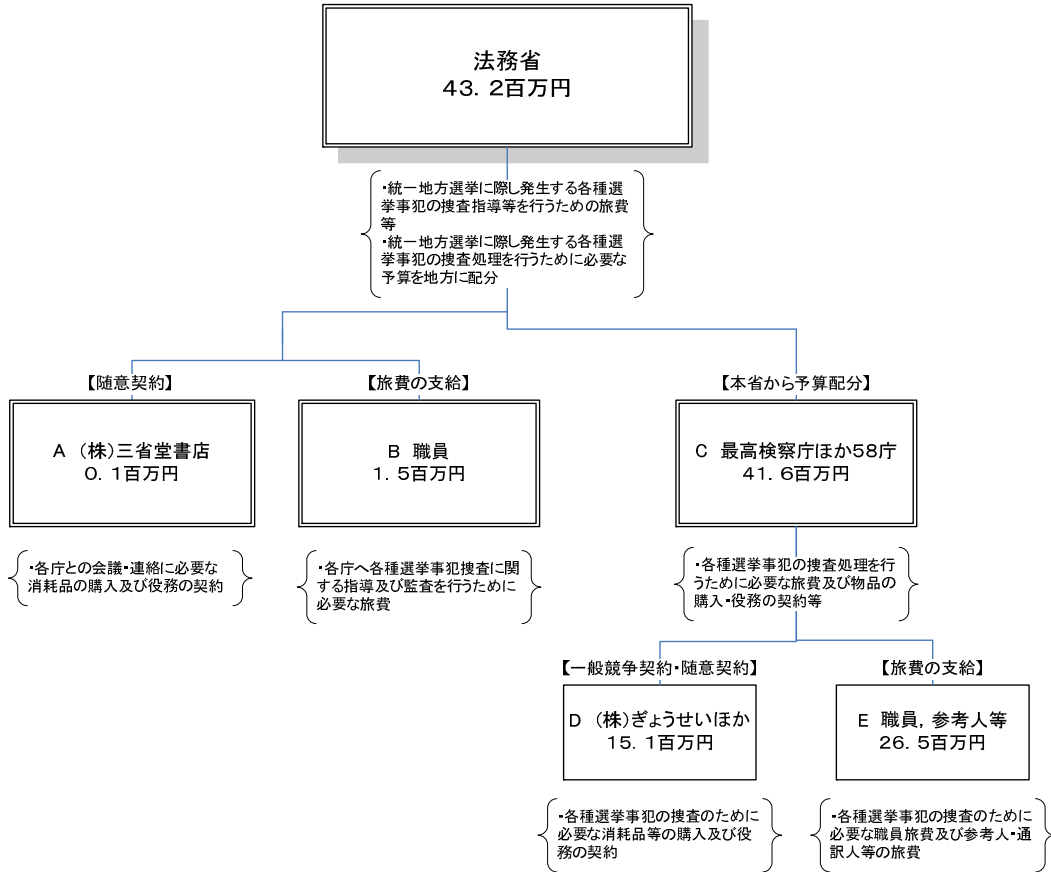


平成23年行政事業レビューシート (法務省)

事業名	選挙事犯の取締り対応	担当部局庁	刑事局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	—	担当課室	総務課	総務課長 岩尾信行			
会計区分	一般会計	施策名	検察権の適正迅速な行使				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	刑法, 刑事訴訟法, 公職選挙法第4条第2項	関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大型選挙違反事犯(衆議院議員総選挙, 参議院議員通常選挙及び統一地方選挙)について, 直接的に違反行為をした者の背後にいる者の関与を含め, 迅速的確に事案の真相を解明して適切な捜査処理を行い公判を遂行することを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	選挙事犯の真相を解明して適切な捜査処理を行い公判を遂行するため, 検察が組織的に対処して, 綿密な捜査活動を行い, 密度の濃い公判立証活動を実施する体制を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	—	43	61	42	—
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	—	43	61	42	—
	執行額	—	42	43	—	—	
執行率(%)	—	97.7%	70.6%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は, 選挙事犯の真相を解明して適切な捜査処理を行い公判を遂行する体制を整備するものであり, その成果について, 数値で定量的に示すことは困難である。	成果実績		—	—	—	—
達成度		%	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	選挙事犯の受理件数	活動実績 (当初見込み)	件	—	1,365	819	— () ()
単位当たりコスト	52,794 (円/件)	算出根拠	平成22年度予算執行額 43,239,000円 平成22年度選挙事犯受理件数 819件				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	(項) 検察企画調整費						
	職員旅費	1	—				
	庁費	1	—				
	(項) 検察費						
	選挙取締旅費	8	—				
	参考人等旅費	1	—				
	選挙取締庁費	5	—				
	(項) 検察運営費						
	職員旅費	22	—				
	検察業務庁費	4	—				
	計	42	—				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	旅費について、ICカードを積極的に活用するなど旅費マニュアルを適切に運用することにより、更なる支出額縮減に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状どおり	平成23年度の執行に当たっては、旅費業務に関する標準マニュアルを着実に実施し、旅費の効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	－	－	
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する) (単
 位: 百万円)



A.三省堂書店			E.職員		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	書籍購入	0.1	旅費	職員旅費	0.4
計		0.1	計		0.4
B.職員			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	各会計機関への予算配分	41.6			
計		41.6	計		0
D.株式会社ぎょうせい			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	図書購入	2.8			
計		2.8	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社三省堂書店	書籍購入	0.1 (0.1)	1	95.7
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※支出額の括弧書き、入札者数及び落札率については、支出先との契約が複数ある場合、契約金額が最も大きいものについて記載している。

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	旅費	0.2		
2	個人B	旅費	0.2		
3	個人C	旅費	0.1		
4	個人D	旅費	0.1		
5	個人E	旅費	0.1		
6	個人F	旅費	0.1		
7	個人G	旅費	0.1		
8	個人H	旅費	0.1		
9	個人I	旅費	0.1		
10	個人J	旅費	0.1		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ぎょうせい	物品購入	2.8 (2.8)	随意契約	
2	株式会社リコー	物品購入	0.9 (0.6)	随意契約	
3	株式会社ディエスジャパン	物品購入	0.5 (0.3)	随意契約	
4	株式会社大塚商会	物品購入	0.4 (0.2)	5	82.5
5	有限会社松岡商事	物品購入	0.4 (0.4)	随意契約	
6	株式会社トヨタレンタリース	自動車賃貸借	0.4 (0.35)	2	92.7
7	株式会社アシスト	物品購入	0.4 (0.2)	随意契約	
8	株式会社三和商会	物品購入	0.3 (0.2)	随意契約	
9	株式会社広野	物品購入	0.3 (0.3)	9	90.65
10	株式会社カイショー	物品購入	0.3 (0.3)	6	99.8

※支出額の括弧書き、入札者数及び落札率については、支出先との契約が複数ある場合、契約金額が最も大きいものについて記載している。

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	旅費	0.4		
2	個人B	旅費	0.4		
3	個人C	旅費	0.3		
4	個人D	旅費	0.2		
5	個人E	旅費	0.2		
6	個人F	旅費	0.2		
7	個人G	旅費	0.2		
8	個人H	旅費	0.2		
9	個人I	旅費	0.2		
10	個人J	旅費	0.2		